

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」高砂事業所		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画に沿った支援、活動プログラムの固定化にならないよう進めている点を評価いただいた	・モニタリング作成は1人～2人で協力して作成し評価と振り返りを実施。ケース会議を行い本計画に内容を反映。 本計画作成前に確認を必要とする時は、保護者様とも内容のすり合わせを実施し本計画に反映させている。	・5領域に沿った個別支援計画を作成し計画を元に支援を実施する。 ・引き続き、定期的に家族支援を実施。計画更新期間だけでなく、必要と感じるタイミングでも相談支援を行い、保護者様と支援の方向をすり合わせていながら支援を進める。
2	・定期的な面談や助言などの支援について評価いただいた	・支援終了後にフィードバックを実施、当日の利用児童の様子をお伝えしている。 ・計画更新前や大切な情報を共有する必要がある場合には、家族支援を実施。事業所間でも情報を共有している。	・保護者様からご質問を受けて、助言や提案の質を上げていけるように、引き続き職員側も社内研修や外部研修を受けていく。
3	・満足度の項目について、高評価をいただいた	・職員間で利用者様の情報共有を実施、担当支援員や他の支援員でも支援を実施できる体制である。 ・机上課題だけでなく、目的の元で近くの公園を利用したり身体を動かす活動も実施。静と動の支援課題を取り入れている。	・支援課題1つ1つに目的がある。個別支援計画を元に支援内容を作成し、ねらいを持って支援を実施。支援内容と目的にブレが生じないように、事業所間や保護者様とも情報共有を行いつつ、利用して頂けるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内の利用者様同士の交流会のイベント実施や研修案内の発信力	・SNS等をうまく活用しきれていない。 ・校舎内に各種案内を掲示しているが、周知には至っていない。	・ブログやSNSなどを活用して研修案内やイベントの発信を行う。 ・校舎のインスタグラムを近日開設し、イベントや研修の案内を発信する。
2	・地域の他の子どもとの交流やイベントが希薄	・利用者様の意向を事前につかみきれていない。 ・個別メインではあるが、時には小集団を希望の方もいる。 ・イベント実施をご存知ではいるが、参加されたことが無い方もいる。	・フィードバック時や定期的な相談支援を実施し、意向を聞き取りした上でイベントに反映。 ・どんなイベントを希望されているのか、事前にアンケート等を行い意向調査を実施するなどして、イベント年間計画に取り入れて企画実行していきたい。
3	・支援員により支援内容の満足度に差がある	・個別支援計画を元に支援を実施しているが、用意した支援内容と目的にズレが生じている場合や、受けている意向と違う方向性になっていると考えられる。	・保護者様と相談支援を行うなど、綿密に内容をすり合わせしていく。 ・職員側の支援の質の向上のために、社内研修やPDCA、YWTなど、目的から支援の内容や方向を捉えていく練習を積む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」高砂事業所					公表日	2024年 12月 28日	
					利用児童数	2024年 10月 31日	回収数 17	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			1	大きい部屋は運動もできてよい。大きい部屋を仕切って、二人支援をするのは娘には向いていない。	他児がいる環境での支援が難しい場合は、面談室などを使用した支援の提供を進めてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		3	あまり考えたことがなくわからない。	受け入れ人数に合わせ、安全確保しながら職員の人数を調整致します。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2		2	段差もなく、スロープもつけられていて身体の不自由な子や親も通しやすい。	事業所内だけでなく、事業所外の環境も整えてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15		1	1	いつも整理整頓されていて気持ちが良い。	事故に繋がらないよう今後とも生活環境を整えてまいります。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	5			先生による。託児化しないようにしてほしい。本人に合わせて支援をしっかりとっている。	職員間で情報共有をしていき、支援室向上を目指してまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	2		2	十分に思う。	個別支援計画をもとに、一人一人にあった個別支援を提供してまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				分析は十分していただいている。	今後もアセスメントなどをもとに保護者様と相談の上、事業所内会議をもとに個別支援計画を作成させていただきます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				思う。不満なし。	今後も児童発達支援ガイドラインをもとに、支援内容の設定を行います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	3		1	沿った支援はしていただいているが、先生によって満足度が変わる。	支援員間の情報共有を密に行っていきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	3			固定化されないのも大事ですが、できないことや苦手な事をできるまでやることも大事なのではないかと思う。	利用者に合わせて課題のステップアップ調整を行っています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8		1	8	こども園に通っている。	園活動では集団生活の学びの場を設けていただき、当事業所では個別での対応をさせていただきます。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				分かりやすく安心して入所できた。	今後も変わらず対応させていただきます。ご不明な点がございましたら、いつでもお申し付けください。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			1	十分説明していただき、納得している。	ご不明な点がございましたらいつでもお申し付けください。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		1	4	行われているが参加したことがない。	保護者イベントを開催する際は、ぜひご参加ください。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1			一定の先生とはできている。	支援後のFBや相談支援を行い、今後も情報共有を行っていきたく思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		1	1	よく相談に乗っていただきありがたい。	今後もお気軽にご相談ください。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	強く思う。	今後も情報共有をしながら支援の提供をさせていただきます。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	2	7	参加したことがないのでわからない。	今後、保護者イベントや兄弟参加型のイベントを企画できるよう、事業所内で話し合いを行ってまいります。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			2	申し入れた際、いつも迅速に対応していただきありがたい。	今後も相談しやすい体制を作ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				先生と話をしている際、他の先生が子供を見守っていて安心している。	今後も相談しやすい環境作りに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1	3	事業所を選ぶ際に目を通し、こちらを選んだ。	今後も定期的に発信していき、事業所内の様子がわかるようにしていきたいと思っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				気になったことがないので十分だと思う。	今後とも個人情報の取り扱いには留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		2	説明はあったが、訓練はわからない。	会社で定期的な研修が開催されています。研修で受けた内容をブログ等を通して伝えていきたいと思っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			3	訓練のことはわからない。	月に一度事業所内にて防災訓練を実施しています。実施内容等は玄関にチラシとして掲示していますので、ぜひご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1	ヘルメットの準備もされているので、安全の確保はされている気がする。	行政の防災ネットの情報収集を行い、安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		2	今まで事故がないのでわからない。	事故防止マニュアルを用いて、対応できるように職員間での共有を行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				とても安心している。	今後とも楽しくご利用いただけるようしてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1			とても楽しみに毎週待ち遠しい。	今後とも楽しくご利用いただけるようしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	3		1	基本的に満足しているが、先生による。要望に沿って支援に入れている。	職員間での情報共有を行い、支援の質の向上に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」高砂事業所				公表日	2024年 12月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用者に合わせて発達支援室を区切る等してスペースを活用しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	個別支援が提供できるように、時間調整を実施しています。	適切な人員の人数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	室内に段差はなくテーブル等で室内空間を区切っている。	事業所内だけでなく、事業所外の環境も整えてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	清掃、消毒、換気を適宜行っている。	事故に繋がらないよう今後とも生活環境を整えてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		静養室・個別相談室での対応が可能。	こどもの特性や要望に応じて個室対応する場所を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	研修等を実施し、業務改善に努めている。	1日、月間、年単位の目標を設定し、業務に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートを実施している。	事業所評価アンケートにご回答いただく他、日々のFBやイベント後のアンケート等で、意向の把握や業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的到校会議を行い、業務改善につなげている。	朝礼終礼、1on1などを実施し意見を受けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者評価機関は設けていません。	外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		はい。	社内研修は年間計画に基づき実施、社外研修にも参加しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	活動内容をブログで紹介している。	個別支援計画を元に支援内容を考え、目的をもって支援実施しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		はい。	定期的にあセスメントを実施し、利用目的や今後の目標に向けた個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		ケース会議の実施をしています。	担当支援員の意見を聞き取り計画内容に反映し、ケース会議を行い個別支援計画書を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		はい。	ケース会議で内容を共有し個別支援計画書を元にして支援プログラムを立案しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	年に一回NCプログラムの実施。	SDQやNCプログラムを実施しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		はい。	児童発達支援サービスガイドラインを元に、5領域の計画作成とそれぞれのねらいを定めた支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	個人間での共有は行っている。	慣れた職員は個人での立案もあるが、他の職員に相談・協力出来る体制を整えています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		はい。様々な支援員が関わることで多角的な視点で支援提供している。	利用者様に合わせて課題のステップアップ調整を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	4	必要に応じて個別支援計画への明記を検討します。	集団活動を計画に記載している場合としていない場合がある。記載の有無に関わらず集団活動を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	職員が複数名支援に入る際は確認している。	朝礼終礼を行い、日々の情報共有で支援場所の確認や支援内容の打合せを行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	必要な場合のみ社内チャットツール、会議で共有	業務の合間や終礼時を活用し業務の振り返り、利用者様の様子や支援内容の共有を行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎回の支援の記録を残し、次の支援に生かしています。	支援後に記録を作成し、記録内容や不備のチェックも職員間で実施することで、支援内容の共有、検証や改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		全利用者、半年内に1度モニタリングを実施しています。	半年に1回はモニタリングを必ず実施。説明と同意を得ています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		はい。	児童発達支援管理責任者は会議に参加し、担当支援員も出席可能な時は一緒に会議参加を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	していません。今後希望に応じて実施したいと思います。	関係機関と連携をご希望される場合などがあれば連携を行う体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	支援の様子の見学受け入れ、園への見学を実施	利用者様、保護者様のご意向に合わせて関係機関と情報共有を行い、連携をとっている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	5	保護者からの希望に応じて行います。	ご要望を受けたり連携が必要な時には情報共有を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		地域の機関との連携を行っている。必要に応じて研修を受けるなど実施しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	いいえ。	他機関との交流や活動の機会は設けることができていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎支援後、フィードバックの時間を設け、利用者の状況共有を行っています。	保護者様から、学校での出来事などを伺っています。相談支援や支援後のF Bをもとに共通理解を図っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	いいえ。	今年度はペアトレ内容のイベントが実行できず。今後は不定期の開催でも少しずつ回数を増やしていきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っています。疑問等あれば都度対応いたします。	初回の面談見学対応時や利用契約時など、書面と口頭にてご説明をさせて頂いております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング説明時、支援後のフィードバック時に適宜保護者の意向をお伺いしております。	支援後のフィードバックや事業所内で相談支援を実施するなど、保護者様と利用者様の意向を聞き取り、頂いたご意見を元にしている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画の説明を行い、同意を得ております。	内容のご説明を行い同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		就学に向けた不安軽減のための先輩保護者との座談会実施	ご相談の依頼などを受けた時は、日程調整を行い面談を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	子育てサポートとして兄弟校流についてしている。 父母の会、保護者会は未実施。	今後、保護者イベントや兄弟参加型のイベントを企画できるよう、事業所内で話し合いを行っていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		はい。	苦情報告を受けた際には苦情の内容を事業所内で共有し、原因を振り返り対策を考えた後、保護者様にご報告を行います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	月2回ブログ更新	イベントの案内やブログの発信、教室通信の掲示、各種研修案内など、情報発信を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	利用者の名前が書かれた書類が机に置かれたまま	契約時に個人情報保護の説明を行います。 重要書類は鍵付きの書庫への保管を徹底しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		はい。	配慮すべきことを事前に保護者様からお話を伺い、対応に努めています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	いいえ。	事業所の利用者様向けのイベントは実施しているが、外部の方向けに対する機会は設けられていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	研修を受けた際は周知をしていきたいと思っております。	各種マニュアルに則って、職員に周知しマニュアルに沿った対応ができるよう研修を実施しています。また、保護者様・利用者様にも閲覧可能な場所にマニュアルを設置しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎月避難訓練を実施しております。	BCPを策定している。災害に備えた準備や研修も実施して取り組んでいます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	面談時に確認しております。	利用開始前に利用者様の情報を聞き取りして対応しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	はい。	利用開始前にアセスメントを実施し、把握に努めています。食べ物を扱うイベントの実施前にも、アレルギー確認をします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	はい。	マニュアルに則り行動できるよう各種研修を受けています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	契約時に説明を実施しております。	BCPの策定について利用契約時にご説明を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		作成・保管ができています	日々の業務内で気づいたヒヤリハットや事故については、報告書を作成し、事業所内で回覧・内容共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		はい。	年間計画に定められた研修を受けている。 外部研修の機会があれば参加をするようにしています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		はい。	利用契約時に身体拘束の同意書をご説明し同意を頂いています。	